

東大野球部 メールマガジン

VOL
128

● 10月が近づくと

10月が近づくと、秋の気配も感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋季リーグ戦が開幕し、早稲田戦、法政戦を終え、残り3カードとなりました。法政1回戦では勝利することができたものの、その後2回戦、3回戦では共に敗北を喫し、勝ち点を逃す結果となりました。

今週は東大は空き週となります。次回の慶應義塾戦、明治戦では勝ち点を奪取するべく、更に気を引き締めて練習に励んで参ります。週末はぜひ、神宮球場へお越し下さい。

今後とも東大野球部をどうぞよろしく願います。

● 今後の日程 〈秋季リーグ戦〉

9月26日	明大 11:00	早大	慶大 13:30	法大
27日	法大 11:00	慶大	早大 13:30	明大
10月3日	早大 11:00	立大	慶大 13:30	東大
4日	東大 11:00	慶大	立大 13:30	早大
10日	立大 11:00	法大	東大 13:30	明大
11日	明大 11:00	東大	法大 13:30	立大

● 今回の特集「秋季リーグ戦特集」

今回の特集は、「秋季リーグ戦特集」です。リーグ戦の見どころ、4年生のラストシーズンへの意気込み、後輩達の4年生に対して抱く思いを聞きました。

阿加多 優樹（4年・副将・外野手・学芸大附）

秋季リーグ戦で注目してほしいところは勝利への執念、この一点に尽きます。

ラストシーズンということで感傷に浸ることはありませんが、4年間お世話になった東大野球部に対して特別な思いがあります。今いる同期や後輩部員ひとりひとりから日々学ぶことが多く、非常に尊敬すべき存在です。また、東大野球部が自分では想像できないほど多くの方々の手によって成り立っており、それは勝つことによってしか報われなれないと感じています。

ゲームでは熱く、冷静に、頑張ります。

坂東 秀憲（4年・主務・栄東）

「4年生を中心としたチーム力で勝つ」という話が多いかと思うのであって個人プレーに注目します（笑）。僕が皆さんに注目してほしいのは東大の内野陣、特に二遊間の守備です。二塁手の飯田は経験と研究に裏付けされた大胆なポジショニング、遊撃手の山田は軽快なフットワークと安定したスローイングが売り。また二遊間の華、ゲッツーも息ピッタリ。チャンスの芽を摘む彼らの連携プレーにもご注目下さい。

桐生 祥汰（3年・内野手・西）

秋のリーグ戦は4年生にとつての集大成となるシーズンです。この夏は、1勝をあげた後も、秋に向けて春以上に野球に真剣に向き合ってきた4年生の背中に触発され、チームが勝つために個人が何をできるかということをそれぞれが自問自答して過ごした夏でした。そして、目標である勝ち点3に向けて、チームの士気は間違いなく過去最高の状態にあります。選手からその様子を感じていただきながら応援していただけると嬉しいですよ。





山本 俊(3年・投手・西春)

秋季リーグ戦で注目してほしいところは、「繋ぐ」意識です。東京大学が東京六大学野球で戦っていくには、個人の打撃技術をあげるだけでは厳しいものがあるので、4年生を中心に、後ろのバッターに繋ぐ、という意識でこの夏の練習、オープン戦に取り組んできました。ヒットだけではなく、泥臭く放つゴロや、あえて選ぶ四死球の数がそれを現してくれると思うので、そこに注目していただきたいです。



楠田 創(2年・外野手・桐朋)

僕は新チームが始まってから外野になり、試合に出始めたのですが、練習でも試合でも4年生が高い基準を設定して厳しい言葉をかけてくれたおかげで、昨冬は一番成長を実感できました。また、試合では4年生がチームのことを常に考えてくれていたため、僕たち下級生はのびのびとプレーすることができました。

このメンバーで試合ができる時間も残り少なくなってきたしまいました。チャンスでしっかり自分の仕事をして、チームの勝ちに貢献し、4年生に恩返ししたいと思っています。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

4年生のラストシーズンとなるこの秋季リーグ戦には、4年生だけではなく、後輩達も同じくらい強い思いを持って臨んでいます。

今回のメールマガジンの特集は「最終戦に向けて」です！4年生との最後の試合に、選手たちはそれぞれどのような思いで臨むのでしょうか。最終戦に対する意気込みなどを聞く予定です。どうぞご期待下さい！

今後とも、東大野球部をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。